

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年6月19日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|--|
| 事業所番号 | 4691700019 |
| 法人名 | 医療法人 松風会 |
| 事業所名 | 松風の里 |
| 所在地 | 鹿児島県志布志市志布志町安楽52番地3 (電話) 099-472-0911 |
| 自己評価作成日 | 平成28年5月27日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|------------------------------|
| 評価機関名 | NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号 |
| 訪問調査日 | 平成28年6月14日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

敷地内に同法人の医院を併設している。医院看護師が定期的に利用者様の検温に来て日頃の健康状態を把握している。体調不良や緊急時にはメールや内線電話で医院に報告し、早めの病院受診が出来る流れが出来ている。ホーム職員に看護師や准看護師が多数勤務しているため、医療面が充実している。医院との連携が密に取れている事でご本人やご家族の安心につながっている。

各ユニット毎に毎月行事を計画しており、利用者様に季節感や楽しみを感じてもらえる様に工夫している。お天気の良い日にはベランダで日光浴を兼ねて茶話会を開くこともあり、利用者様にも喜んでいただいている。

運営推進会議はご家族も参加して頂いており、ご家族・地域の方・ホーム職員が顔を合わせ楽しく活発に意見交換を行っている。年に2回の消防訓練ではご家族に利用者様役・地域の方に救助者役をしてもらい、実践に役立つように訓練をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは母体が医療法人であり、健康管理や緊急時や終末期の医療の対応ができ、医療連携が24時間体制で整っている。
- ・運営推進会議が有意義に機能している。議題の消防訓練の話し合いでは、誘導時の反省や消火栓の扱い方等、多くの意見交換がある。
- ・利用者の残存機能を大切にしている。年間計画行事に、そば打ち、餅つきの餅丸め恵方巻き作り、グループワーク等、花活けへの興味等、参加する利用者が多く、明るい表情で楽しんでいる。歩行困難の方が、支え歩きができた事例や、おむつからの自立等、管理者や職員の労を惜しまない温かい支援がある。
- ・お便りによる家族との連携が喜ばれている。月行事や介護計画見直しの担当者会議連絡の記載や、利用者の状況変化に密に家族と連携とっている。
- ・「その人らしく生きて行くこと」を介護の基本に、家庭的な雰囲気をつくり、自立した尊厳のある生活を支援している。
- ・介護度が高くなる利用者の支援や、地域貢献も視野に入れながら、全職員、研修を積んで、質の高いサービスを提供する姿勢が見られる。優しい職員と共に、安心して暮らせる居心地の良いグループホームである。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 各ユニット毎の理念があり、申し送りの前に朝は1ユニットで夕は2ユニットで夜勤者・日勤者で唱和してから仕事に入るようにしている。 | 地域密着型の理念を作成し、玄関やリビングに掲示している。朝のミーティングで唱和し、職員会議やミーティング・申し送り時に、理念に基いての話し合いをして、日頃のケアを振り返り実践につなげている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 香月集落に加入し町内会からの回覧板を回覧し、地域の行事や出来事を把握し可能な範囲での行事参加に努めている。また、運営推進会議メンバーに地域の方々がおられ、地域での情報を得る様に努めている。 | 自治会に加入して地域のお月見会等に参加している。日常的には散歩や買い物に出かけた時にあいさつをしている。小学校の運動会・駅伝を見物したり、認知症サポーター養成講座を開催している。運営推進会議に地域代表の参加等があり、消防訓練の時も地域の商店街や住民の協力をもらい訓練を行っている。地域住民と日常的に交流している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 運営推進会議を2カ月に一回実施している。メンバーの中に地域の方もおられ、会議の中で施設の様子をふまえながら認知症に関する話や質問などを受け、認知症の理解につながるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 4 | 3 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>2カ月に1回開催されている運営推進会議の中で施設の様子や出来事・ヒヤリハットの報告などを行いメンバーの方々から意見を頂きサービスの向上に努めている。又消防訓練の参加もして頂き施設内の様子を見て頂いている。</p> | <p>会議は定期的に行っている。外部評価や活動報告・消防訓練・ヒヤリハット等を報告している。活発な意見交換が行われて家族の参加を多くする工夫の意見や会の終了時間を記載して欲しいとの要望等、サービス向上に活かしている。</p> | | |
| 5 | 4 | <p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p> | <p>市の介護保険課の方に運営推進会議や消防訓練に参加して頂き、その都度意見をもらい次につなげている。また、分からない事があれば直接出向くか電話で尋ねる様になっている。</p> | <p>市の担当者とは、書類更新時に窓口に行ったり電話で相談する等、アドバイスを受けている。運営推進会議や消防訓練時に情報交換をしている。市主催のケアプランの研修会に参加し、日頃から協力関係を築くよう取り組んでいる。</p> | | |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>年に2回カンファレンスの時間の中で身体拘束に関する勉強会を実施している。身体拘束0を目指す事業所であり問題に直面した時はその都度ショートカンファレンスを開き解決できるようにスタッフ全員で取り組んでいる。</p> | <p>「身体拘束をしない」を目標に身体拘束のマニュアルがあり、事例をあげて年2回、勉強会を実施している。言葉の拘束も気配りして、身体拘束0を目指して、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせずに外に出たい利用者には、話を聴いて寄り添い、さりげない声かけや散歩で付き添っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>年に2回、虐待に関する勉強会を行っている。又自分のお世話を振り返る機会を作りスタッフ一人ひとりが考えお世話している様にしている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>カンファレンスの中で権利・成年後見人制度について勉強会の機会を持ち、職員に制度の周知が出来る様に努めている。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>ご家族や利用者の方との面談時に不安や疑問点を尋ね、理解・納得できるよう十分な説明を行い書類にサイン・捺印を頂いている。法改正の際は文書を郵送したり家族会を開いて理解・納得して頂いている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>家族の方が面会に来られた時に意見・要望を尋ね記録として残しその都度スタッフ間で話し合いの場を設け話し合い結果について家族の方へ報告している。設置面については運営会議に議題に上げ話し合いをしている。</p> | <p>利用者からは、日頃のケアの中で声かけして思いを聞いている。家族からは、運営推進会議や面会時・受診報告時に意見や要望を聴いている。遠方の家族には電話や2ヶ月に1回は、利用者の担当職員がお便りを出して意見や要望を把握している。利用者の好きな買い物支援や日常の散歩の要望に対応して、運営に反映させている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 日々の会話からスタッフの意見や提案を聞き運営会議で協議事項としてあげ検討している。決定事項については電子メールで報告があり、他のスタッフが周知できる様連絡ノートに記載している。 | 管理者は月1回のカンファレンスや日常の会話から職員の意見や提案を聞きショートカンファレンスをその都度開いている。備品の購入の意見や資格取得に対して協力的であり運営に反映させている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 研修の参加や資格の取得・ホーム内の行事計画・ショートカンファレンスの開催など努力や実績が「介護処遇改善交付金」に反映され向上心を持って働けるようにしている。また業務内容を見直し話し合う事で就業時間内に業務が終了できる様にしている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人職員に対しては入職時に「認知症」についての勉強会を行っている。また日ごとに担当者を決めて一緒に行動し指導している。経験年数に応じ実践者研修等にも積極的に参加する様呼びかけている。また、カンファレンス時には月ごとテーマを決め勉強会を行っている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | GH協議会や研修に参加した際休憩時間やグループワーク時に他の施設の方と積極的に情報交換をしまた地域医療の交流会への参加も行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人が困っている事や不安な事、要望等を本人から聞く機会を作り安心してお世話が出来る関係づくりに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | スタッフからの声掛けや挨拶を行い家族の方の意見や要望等に耳を傾け安心してお世話が出来る関係づくりに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居前・入居時にご家族・本人と面談を行い情報収集しその時必要としている支援を見極め対応に努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | その方の生活背景をとらえスタッフと一緒にテレビでの話題や音楽・本等を見て会話をし頂き関係を築いている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会の際は現在の近況を伝え落ち着いて過ごせるよう居室で面会して頂いている。遠いご家族にも本人の様子が分かるように2か月ごとにお便りを発行している。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 行事やドライブを兼ねて自宅やなじみの場所・本人が行きたい場所に訪ねている。地域の行事に可能な限り参加するよう努力している。 | 利用者の馴染みの人や場所を把握して関係がとぎれないように支援している。友人の訪問の際は部屋でお茶を出して、ゆっくりしてもらって、地域の住民とも関係を大切にしている。墓参りや自宅訪問で家族と一緒に過ごしたりしている。服を買いに同行支援している。家族の協力もある。美容室は馴染みの出帳サービスで対応している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者個人の性格やレベルに合わせて席を変えたり散歩や日光浴を楽しんで頂くよう努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス利用終了後、ご家族の方が立ち寄られた時は挨拶や話を聞き相談にも応じている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | それぞれのご家族の要望やご本人の希望にそえるよう入居時に聞き取りを行っている。 | 個性や思いを活かし楽しく生活ができるようにケアプランの見直しや個別記録で、テレビや花を活けたい等、意向を把握している。意思疎通が難しい利用者には2択で聴き取りをしたり、家族に聞いたりして本人中心の支援をしている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご本人と会話する中で昔の仕事・子供さん達の事を聞かせていただいている。またご家族から情報を得てサービスに活かすよう努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 個々の利用者の体調に合わせて天気の良い日は外に出て日光浴をしたり雨の日はリビングで皆様と一緒に会話をしたりビデオを見たりして過ごして頂いている。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月に一度のカンファレンスを実施している。必要がある場合はショートカンファレンスを開きご家族にも連絡報告を行っている。また定期的に担当者会議を開催しご家族の方と意見交換している。 | 本人や家族・関係者と話し合い、意向や思いを把握して介護計画を作成している。モニタリングは毎月実施、状況の変化があった時は、ショートカンファレンスで話し合い現状に即した介護計画を作成している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>スタッフが個人のケアプランに沿った記録が行えるようにケアプランを台帳に挟んでいる。受診やヒヤリなどは文字の色を変えて記録しスタッフが情報を共有出来る様にしている。またショートカンファレンスを行ったときは期間を決めて評価している。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>ご家族や本人の要望があれば出張散髪を利用している。また本人に必要な物があれば一緒に買い物に出かけたりしている。ご家族との外出・外泊なども取り組んでいる。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>運営推進会議メンバーの方に避難訓練・行事に参加して頂き協力を得ている。行事の中では花見や外食を企画し地域施設を利用している。また市の行事にも参加し地域の方と交流を深めながら楽しめる様に支援している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>併設医院があるためメールや電話で状態報告を行い連携している。専門機関への受診が必要な時はご家族と連絡調整をし適切な医療が受けられるようにしている。</p> | <p>入居の時、本人や家族のかかりつけ医の希望を聞き受診支援を行っている。併設医療機関がかかりつけ医になっている。受診結果で変わった事があった時は、家族に報告している。眼科・歯科・整形外科の受診は、家族と連絡調整して、適切な医療を受けられるよう支援している。</p> | |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>利用者と日々接する中で異常や変化に気づいた時はホームの看護職員に報告相談している。看護職員は併設医院へ電話やメールで報告し必要があれば受診や往診をお願いしている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時には看護職員が付き添い看護サマリーなどで情報提供をしている。面会に行った時は本人や担当医・担当NSから情報を得る様にし退院時期などの連絡調整など密に行い本人やご家族の方が不安なくホームに帰ってこれるようにしている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>入居時に本人・ご家族の方に「重症化看取りに関する指針」の説明をし、納得したうえで書類にサインを頂いている。状態の変化に合わせて主治医からの説明後家族の意向については書面にて確認している。看取りの時期には細目に状態観察を行い主治医へすぐ連絡が取れる様にしている。</p> | <p>重度化や終末期に向けた方針は入居時に説明して、同意を得ている。状況の変化に伴い、主治医からの説明を受け、本人や家族と何度も話し合いを行い、終末期に向けた家族の意向を大切にしている。医療機関が敷地内にあり、看護職員も多く終末期の医療体制は万全の備えがある。看取りの事例がある。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>日頃の利用者様への対応で看護師を中心に指導を受けている。急変時や事故発生時の連絡・対応・手順についてはフローチャートを分かりやすい所に貼り連絡報告がスムーズに出来る様にしている。</p> | / | / |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>年2回避難訓練を行い消防職員の方に来て頂き指導してもらっている。地域の方の協力もあり、職員同士協力体制を作っている。</p> | <p>年2回避難訓練を実施している。1回は消防署が立ち合い指導を受けている。マニュアルがあり勉強会を家族も含めて実施している。避難場所、避難経路、防火扉の点検や利用者を避難する誘導を行っている。地域の協力体制もできている。市の主催で津波の訓練等を行っている。非常時の水や缶詰・インスタント食品・懐中電灯等、備蓄している。職員用のヘルメットも常備している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p> | <p>ご家族の情報などから一人ひとりの人格・プライバシーを考慮しその方に合った一日の過ごし方をレベルに合わせて色々取り入れて対応を行っている。</p> | <p>マニュアルがありカンファレンスで振り返りの機会をつくって、プライバシーを損ねない対応をしている。入浴介助はカーテンでの仕切り、トイレ誘導の声かけは他の方に気づかれないように、入室時のノック等、気配りをしている。アンケートによる個人の意見も大事にしている。</p> | |
| 37 | | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p> | <p>常にご本人の希望・自己決定が行えるよう声掛け・ジェスチャーなどで働きかけている。</p> | | |
| 38 | | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>利用者の体調・気分など把握し入浴排泄時の移動・リビングなどで利用者のゆったり楽しい時間を過ごして頂く様努めている。</p> | | |
| 39 | | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p> | <p>利用者の気に入ったものを身に付けて頂いたり清潔に過ごせるよう日々支援を行っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | 料理の味見をして頂いたり、好みの食べ物を伺ったりしている。季節の物・食べやすい物など気を付けている。 | 利用者に味見をしてもらったりコップなどの軽度な片付け、筍やつわの皮むき、行事の時は巻きずしやそば打ちなど、利用者の力量に応じて職員と一緒にしている。好みを聞いて、献立作成や健康飲料水をゼリー状にしたり工夫している。出前や外食も計画して、食事を楽しんでいる。 | |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | 味付けの工夫・嚥下機能に合わせて刻み・とろみをつけ食事形態を工夫している。毎食お茶など十分な水分補給が出来る様に努めている。 | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p> | 統一したケアが出来る様になっている。声掛けでうがいをして頂いたり出来ない方はスタッフで口腔ケアを行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 時間誘導・おむつ交換の時間を話し合い統一したケアが出来る様になっている。 | 排泄チェックシートで個別的に把握している。日中はできるだけトイレを使用するように支援している。トイレに毎回行くことで起立動作ができるようになったり、おむつからリハビリパンツやパットになった事例がある。羞恥心や不安への配慮に気配りして、自立に向けた支援を行っている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 水分補給を心掛け腹部マッサージを行い排便を促している。便秘が続くときは主治医に相談し整腸剤・座薬・緩下剤を使用している。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 入浴は週3回を基本にしている。必要に応じて曜日・時間をずらしている。リラックスして頂けるように音楽・ラジオを入れる様にしている。便失禁などその時に応じて入浴している。 | 基本的には週3回本人の意向にそった入浴支援をしている。羞恥心のないよう気配りして介助している。音楽やラジオをかけて楽しんでもらっている。入浴を拒む利用者には、時間をずらしたり、日にちを変えたりして対応している。清拭も行っている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している | 就寝時間を把握しその日の体調 に合わせて午前・午後に休んで 頂いている。不安のある方はス タッフと過ごし会話を行い安心 して休んで頂ける様にしてい る。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている | スタッフ同士の声掛け・確認を 行い服用後の様子を観察出来る 様に配慮している。お薬手帳を 作り個別に綴り見られるように している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活暦 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をし ている | 残存機能をいかし、調理の皮む き洗濯物たたみの手伝いをして 頂いている。テレビ鑑賞・おや つを食べながら談笑など生活の 中で生き生きと生活できる様 に努めている。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるように 支援に努めている。また、普段は 行けないような場所でも、本人 の希望を把握し、家族や地域の 人々と協力しながら出かけられ るよう支援している。 | 季節に応じて各行事を行い外出 する機会を設け個人の希望で買 い物散歩に出かけたりしてい る。 | 日常的には近隣の散歩や買い物 で近くのスーパーマーケットに 出かけている。年間行事で花見 やコスモス見学・初詣・地域の 行事等に出かけ楽しんでいる。 外出したくない利用者には、 おみやげ話や日を変えて近くの 行きたい所に外出支援してい る。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p> | <p>ご本人・ご家族の希望に応じて自己管理の難しい方にはこちらで管理し欲しい物食べたいもの等一緒に出掛けて買い物をしている。</p> | | |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p> | <p>事前にご家族の了承を得てご本人の希望時間に電話をする様に試また、電話が来た時は直接話をして頂いている。手紙は付き添いにてご本人に開封して頂いている。</p> | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>リビングは季節の花・壁飾り等廊下は行事の写真を掲示している。浴室はカーテンを利用しプライバシーの確保に努めている。居室はプライベートルームとして花・写真等を飾り小窓にはカーテンをつけたり温湿度計を置き快適に過ごせるよう心掛けている。</p> | <p>共用空間は温度湿度に配慮されエアコンにより調整され快適に過ごせる環境にある。玄関の入り口に石臼や季節の花・可愛い置物が飾られ、観葉植物が置かれている。リビングには利用者の誕生日の写真や馴染みの歌詞が貼ってある。居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>リビングでテレビ鑑賞する方、数字並べをする方、会話を楽しまれる方それぞれ楽しめる様工夫している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>ご希望によりご本人・ご家族の写真・花を飾り音楽を聞いたりテレビを観たり必要であればご家族に説明して準備して頂いている。</p> | <p>居室は家族と相談して自宅で使い慣れた時計や暦・馴染みの人形が置かれている。壁に写真を貼ったり、季節の花を飾ったり、好みに合わせて個性のある設営をして、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p> | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>危険な場所には利用者様が分かるよう色で工夫したり読める文字の大きさにしている。浴室トイレ廊下には手すりが設置してあり立てる方は手すりを利用して頂いている。</p> | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | ○ | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |